

# 平成29年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

## 第1学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話すことでは、声の大きさを意識しながら、みんなに分かるように伝えることに課題がある。また、友達に自分の考えを伝えることが苦手な児童がいる。伝えられても表現力に乏しい。【話すこと・聞くこと】</li> <li>・聞くことでは、話を聞く態度に問題がある。また、話の内容が理解できない児童がいる。【話すこと・聞くこと】</li> <li>・本を読んだりすることが苦手な児童がいることから、物語や説明文の内容について、読解力に差がある。【読むこと】</li> <li>・ひらがなの字形を正しく書いたり、鉛筆の持ち方や筆順に気をつけて文字を書いたりすることが苦手な児童がいる。また、文章を書く時に促音・拗音、濁音・半濁音、「は、を、へ」を正しく使うことが苦手な児童がいる。【言語事項】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさについては、声のものをさしを掲示しておき、話す時の適切な声の大きさを意識させる。毎日の音読で声を出して表現することの楽しさを実感させる。話すことが苦手な児童に対しては話型を提示し、伝え方のヒントを与える。表現力は語彙を増やす授業を定期的に行い、掲示し、使う機会を増やす。</li> <li>・相手の目を見て内容を正確に聞き取るよう促す。聞く態度は、目と耳と心で聞くということを指導していく。話の内容を理解させるため、視覚的に示したり、内容を少しずつ伝えたりして理解させるようにする。</li> <li>・本を読むのが苦手な児童に対しては、音読カード、読書カードを活用し、意欲的に読む活動に取り組み、本に親しませるようにする。また、図書の時間を利用して。読み聞かせや本の紹介を定期的に行う。物語文や説明文を取り上げるとき、話の内容を正しくつかめるよう工夫する。例えば、絵や図で視覚的にとらえさせたり、ワークシートでわかりやすくまとめられるようにしたりする。単元のめあてを提示し、学習に見通しをもたせ、意欲を高める。</li> <li>・文字指導では、電子黒板等ICT機器を活用し、拡大して視覚的に分かりやすく提示して、字形に気を付けて書くことができるようにする。「は、を」など助詞の使い方は、プリント等で反復練習をする。また、作文や日記など文章を書く活動で、字形を整えて正しく、助詞に気をつけて書くよう指導していく。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数をまとまりとして捉えたり、数の構成についておおむね理解しているが、個人差は大きい。【知識・理解】</li> <li>・9までのたし算・ひき算の計算技能はおおむね定着している。しかし、たし算、ひき算で指を使ってもできない子や、長さなどの量については、具体物を用いても理解できない児童がいたりするなど、定着している児童としてない児童の個人差は大きい。【表現・処理】</li> <li>・文章題において、立式することが難しい。たすのかひくのかわからなかったり、小さい数から大きな数をひいてしまったりする児童がいる。【数学的な考え方】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の意味を理解させるために、具体物や半具体物を用いた活動で確実に定着させるようにする。また電子黒板やデジタル教科書等、ICT機器を使って、視覚的に分かりやすく提示する。</li> <li>・計算カードや同様の問題を繰り返し行うことで、計算に習熟し、活用できるようにする。</li> <li>・図や絵を用いて、問題場面が理解できるようにする。また、児童の経験や生活に根ざした場面を問題に取り上げ、興味関心を高める。</li> </ul>

<p><b>生 活</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察したことを発表する時やカードに記述する時に、自分の思いや気付きを表現することが難しい児童がみられる。【思考・判断・表現】</li> <li>・学校の敷地内に、自然や生きものにかかわる場が少ない。【関心・意欲・態度】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを掲示するだけでなく、グループで交流する時間を設け、友達のよさを見つけられるようにする。</li> <li>・近隣の公園、移動動物園等を利用し、自然とかかわる場をつくり、体験的な活動を取り入れるようにする。ICT機器を用いて、自然や生きものを写真や動画で紹介し、イメージを膨らませるようにする。</li> </ul>
<p><b>体 育</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことに苦手意識を持っている児童がいる。【関心・意欲・態度】</li> <li>・運動に見通しをもてず、技能を向上しようという意欲をもてない児童がいる。【関心・意欲・態度】</li> <li>・ボール遊び運動の経験が少なく、片手でボールを投げることができる児童が少ない。【技能】</li> <li>・走り方や投げ方、跳び方などのイメージがもてない児童がいる。【技能】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの要素を取り入れながら、体を動かすことの楽しさを実感させる。また、休み時間も児童がすすんで体を動かせるような遊びやゲーム等を紹介する。</li> <li>・学習カードを使用して、運動の見通しをもたせ、運動に対する意欲をもてるようにする。</li> <li>・ボールを投げたり、受け取ったりする経験の積めるゲーム等を取り入れる。</li> <li>・児童自身がイメージ通りに動かせるように繰り返し指導を行う。また、運動を楽しく行う中で、基本的な体の動きや、各種の運動の基礎となる動きを取り入れ、運動に親しませる。</li> </ul>